

平成25年3月期 決算ハイライト



平成25年3月期 決算の概要（総括）

- 経常収益は 58,248百万円（前期比△ 276百万円、2期ぶりの減収）
- 経常利益は 11,951百万円（前期比△1,499百万円、4期ぶりの減益）
- 当期純利益は6,361百万円（前期比+ 278百万円、2期ぶりの増益）
- 全体としては、2期ぶりの減収増益。
- 単体自己資本比率は前期末比△0.09%の13.11%となりました。
- 金融再生法開示債権が総与信に占める割合（不良債権比率）は前期末比+0.30%の3.44%となりました。

(1) 損益の概要

【単体】

（単位：百万円）

	24年3月期	25年3月期	増減額	増減率
経常収益	58,524	58,248	△ 276	△ 0.5%
経常利益	13,450	11,951	△ 1,499	△ 11.1%
当期純利益	6,083	6,361	278	4.6%
コア業務純益	18,270	17,098	△ 1,172	△ 6.4%

【連結】

（単位：百万円）

	24年3月期	25年3月期	増減額	増減率
経常収益	70,160	69,314	△ 846	△ 1.2%
経常利益	14,865	14,123	△ 742	△ 5.0%
当期純利益	6,314	6,994	680	10.8%

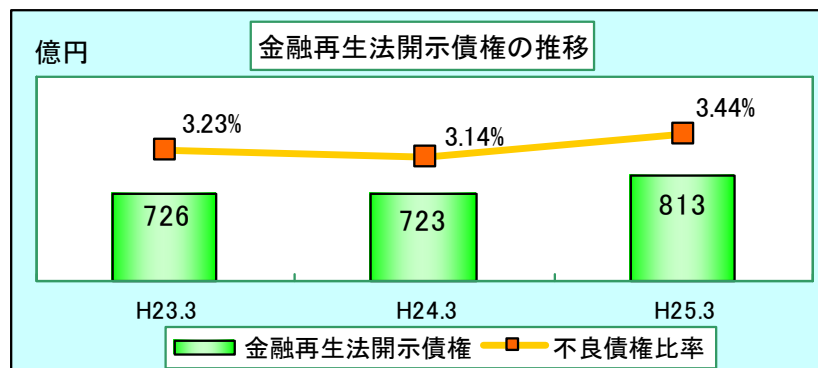
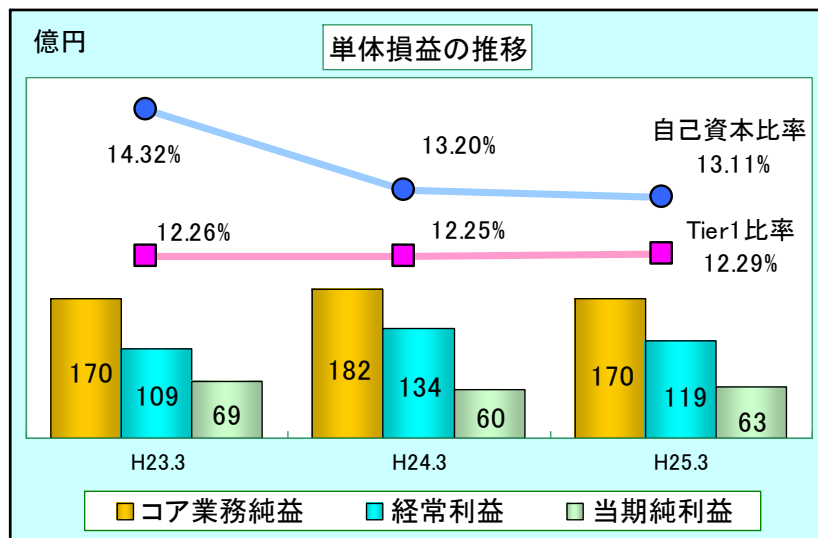
(2) 自己資本比率【単体】

	24年3月末	25年3月末	増減
単体自己資本比率	13.20%	13.11%	△ 0.09%
（Tier1比率）	（ 12.25%）	（ 12.29%）	（ 0.04%）

(3) 金融再生法開示債権【単体】

（単位：百万円）

	24年3月末	25年3月末	増減
金融再生法開示債権	72,365	81,368	9,003
（不良債権比率）	（ 3.14%）	（ 3.44%）	（ 0.30%）



平成25年3月期 決算の概要（単体）

• 業務粗利益（除く債券関係損益）	46,951百万円（前期比 △1,718百万円）
• 経費	29,852百万円（前期比 △ 546百万円）
• コア業務純益	17,098百万円（前期比 △1,172百万円）
• 経常利益	11,951百万円（前期比 △1,499百万円）
• 当期純利益	6,361百万円（前期比 + 278百万円）

		(百万円)		
		24年3月期	25年3月期	増 減
業務粗利益		49,177	50,433	1,256
(除く債券関係損益)		(48,669)	(46,951)	(△ 1,718)
資金利益		42,405	40,846	△ 1,559
役務取引等利益		5,902	5,773	△ 129
その他業務利益		869	3,814	2,945
うち債券関係損益		508	3,482	2,974
経費	(△)	30,398	29,852	△ 546
コア業務純益		18,270	17,098	△ 1,172
一般貸倒引当金繰入額 ①	(△)	△ 273	△ 1,735	△ 1,462
業務純益		19,052	22,316	3,264
臨時損益		△ 5,602	△ 10,364	△ 4,762
うち株式関係損益		△ 359	△ 1,988	△ 1,629
うち不良債権処理額 ②	(△)	6,008	8,369	2,361
うち償却債権取立益 ③		1,536	836	△ 700
経常利益		13,450	11,951	△ 1,499
特別損益		△ 346	△ 2,664	△ 2,318
当期純利益		6,083	6,361	278
実質不良債権処理額 ①+②-③		4,197	5,798	1,601

[業務粗利益（除く債券関係損益） 前期比△1,718百万円]

- ・ 貸出金、有価証券等の資金運用利回りの低下により、資金利益が減少した為、前期比減少。

[経費 前期比△546百万円]

- ・ 生産性の向上に努めた結果、人件費を中心に経費を抑え前年比減少した。

[コア業務純益 前期比△1,172百万円]

- ・ 資金運用利回りの低下による資金利益の減少が主因。

[経常利益 前期比△1,499百万円]

- ・ コア業務純益が減少したことを主因に前期比減少。有価証券損益は増加したが、不良債権処理費用も増加。

[有価証券関係損益 前期比+1,345百万円]

- ・ 債券関係損益 前期比+2,974百万円
債券価格の上昇により一部債券を売却し、売却益を計上。
- ・ 株式関係損益 前期比△1,629百万円
保有株式の一部売却により売却損を計上。

[実質不良債権処理額 前期比+1,601百万円]

- ・ 取引先格付けの見直し等により前期比増加したが、ほぼ当初見込み（通期55億円）どおりの水準となった。

[特別損益 前期比△2,318百万円]

- ・ 本店移転等に伴う不動産の減損処理費用を計上。

[当期純利益 前期比+278百万円]

- ・ 前期の税制改正の影響が無くなり、ほぼ前年並みを確保。

[配当]

- ・ 当期純利益の水準に照らし合わせて前期と同じく年間6円

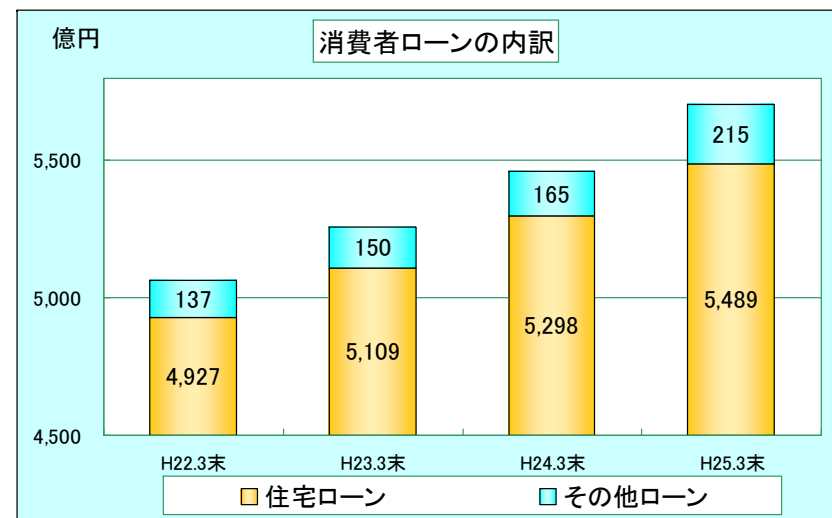
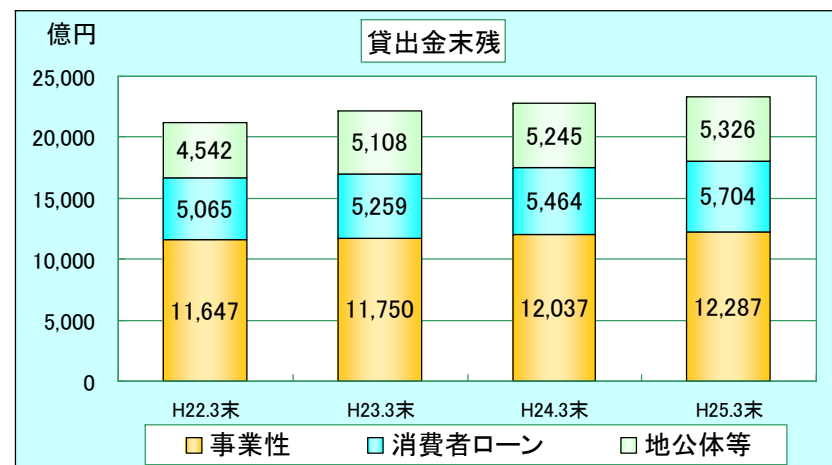
貸出金

- 貸出金残高は、事業性貸出、消費者ローン及び地公体等貸出がいずれも増加し、前期末比+572億円の2兆3,319億円となりました。
- 事業性貸出金は、前期末比+250億円の1兆2,287億円となり、3期連続の増加となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン及びその他ローン（カードローン、マイカーローン等）ともに順調に増加しております。

○貸出金の内訳

(億円)

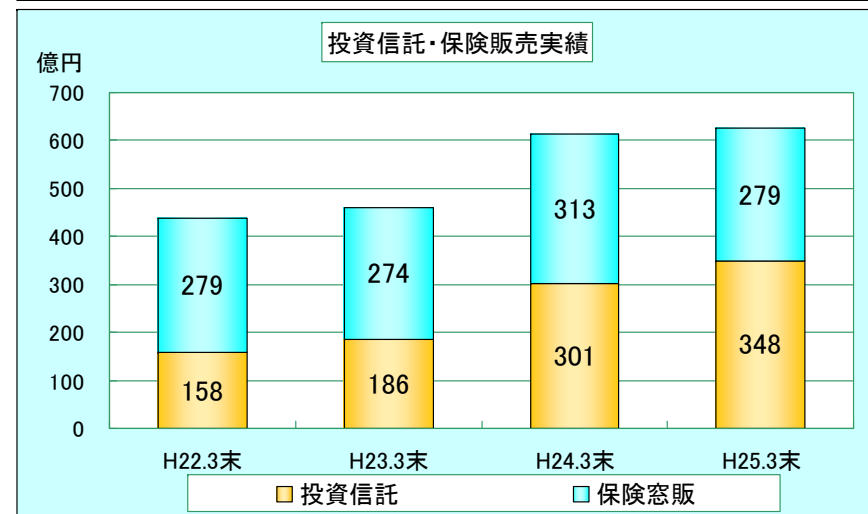
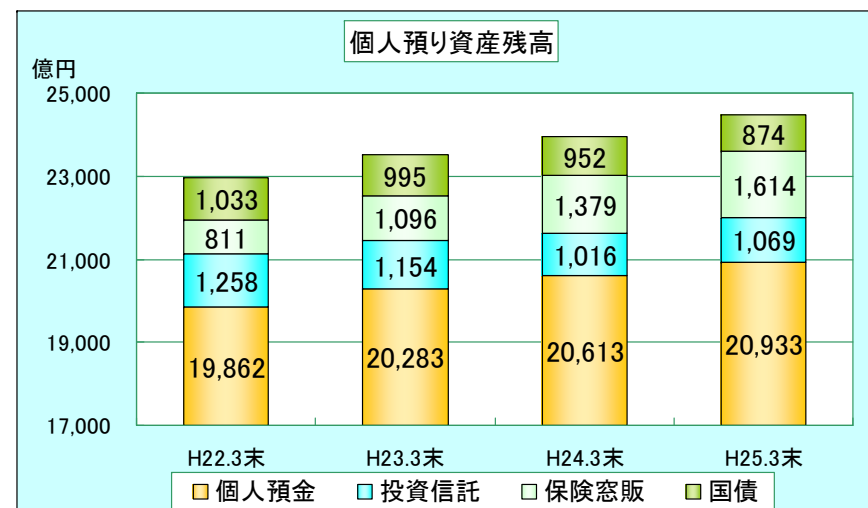
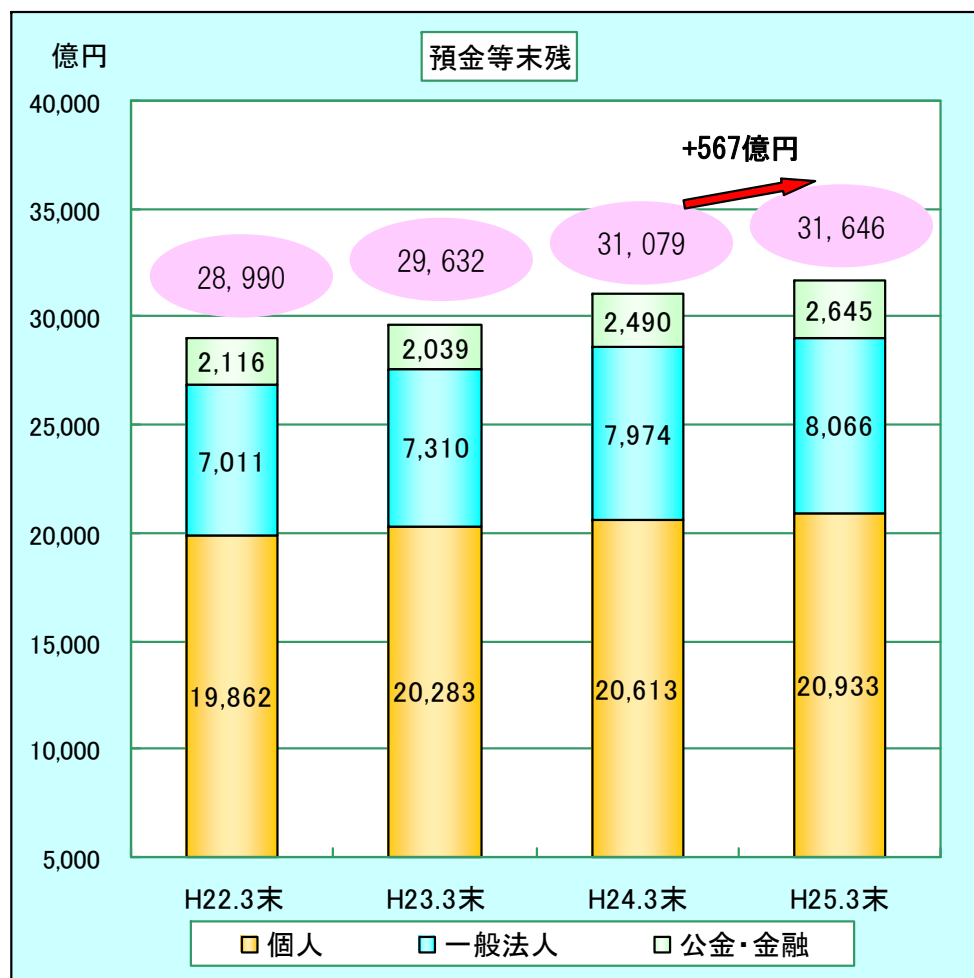
	H22.3末	H23.3末	H24.3末	H25.3末	増減 (24.3末比)
事業性貸出	11,647	11,750	12,037	12,287	250
消費者ローン	5,065	5,259	5,464	5,704	240
うち住宅ローン	4,927	5,109	5,298	5,489	191
うちその他ローン	137	150	165	215	50
地公体等	4,542	5,108	5,245	5,326	81
貸出金計	21,256	22,118	22,747	23,319	572



預金・預り資産

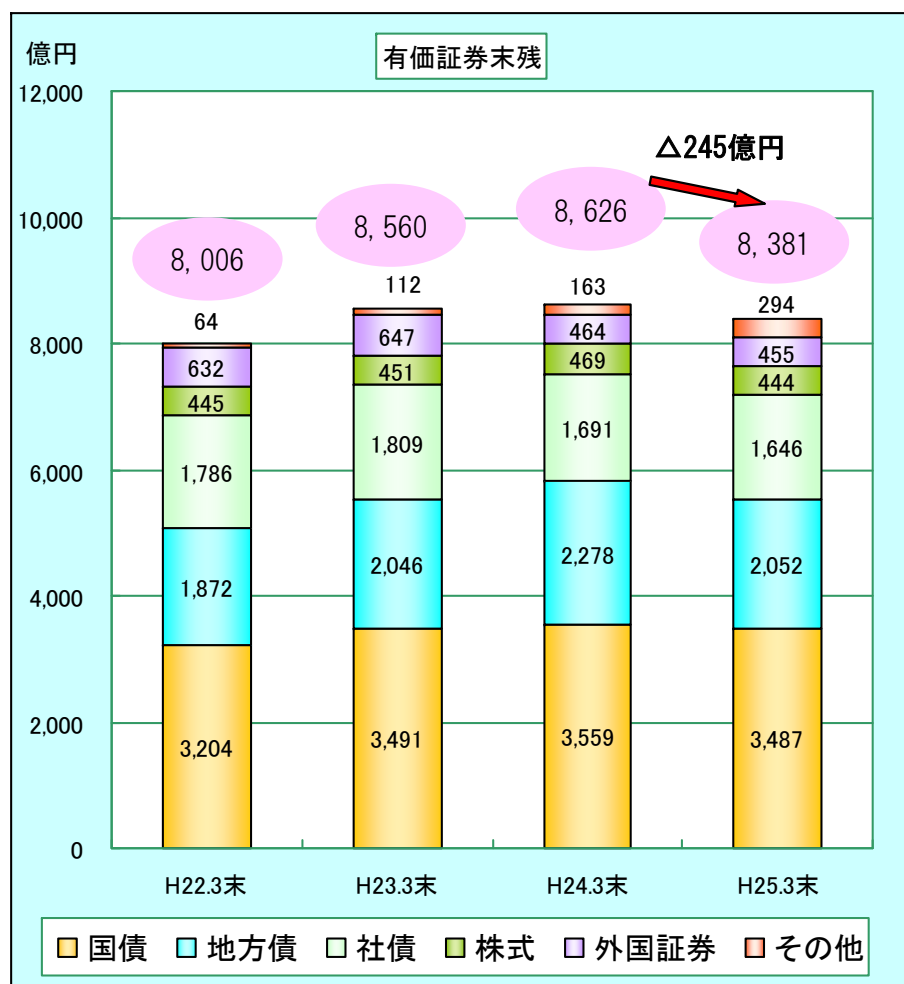
- 預金（含む譲渡性預金）は、個人預金、一般法人預金及び公金・金融預金がいずれも順調に推移し、前期末比+567億円の3兆1,646億円となりました。
- 個人預り資産では、市況の回復により投資信託の販売が増加しました。

○預金等末残



- 有価証券残高は、一部債券を売却した影響から減少し、期末残高は前期末比△245億円の8,381億円となりました。
- 有価証券の評価損益は債券・株式ともに増加し、全体では前期末比+8,328百万円の47,207百万円となりました。

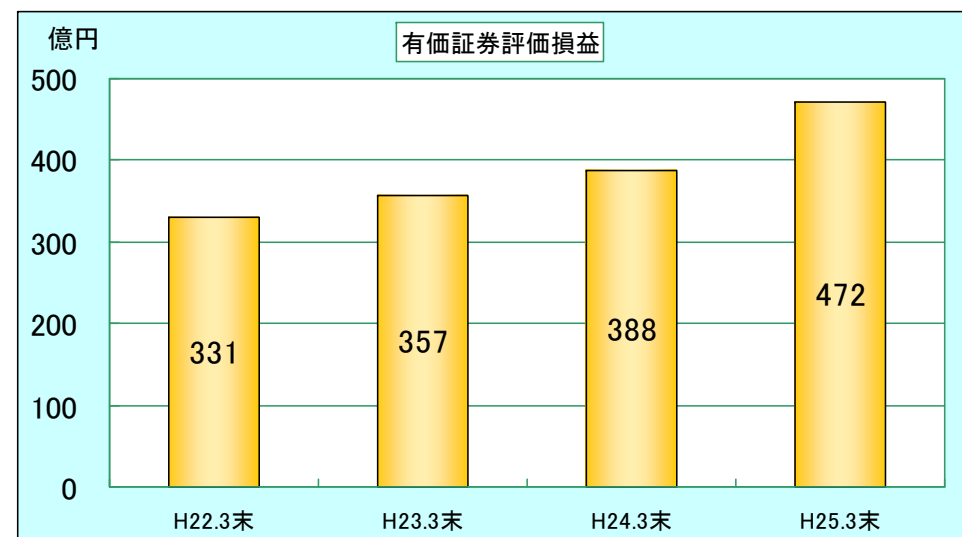
○有価証券末残(取得原価ベース)



○有価証券の評価損益

(百万円)

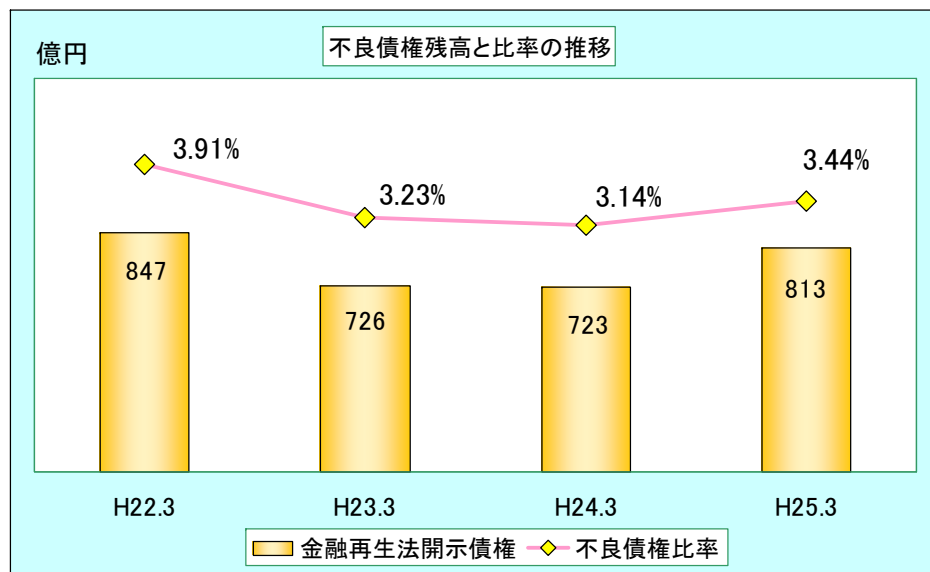
	H22.3末	H23.3末	H24.3末	H25.3末	増減 (24.3末比)
評価損益合計	33,164	35,717	38,879	47,207	8,328
株式	22,258	26,065	22,483	27,877	5,394
債券	10,636	9,809	15,767	18,448	2,681
その他	270	△157	628	881	253



不良債権残高／自己資本比率の状況

- 不良債権比率は融資先の一部について格付の見直しを行った結果、前期末比+0.30%の3.44%に上昇しました。
- 自己資本比率は、前期末比0.09%低下し13.11%となりました。また、自己資本の質の高さを示すTier1比率は12.29%へ上昇しました。

○不良債権残高の状況

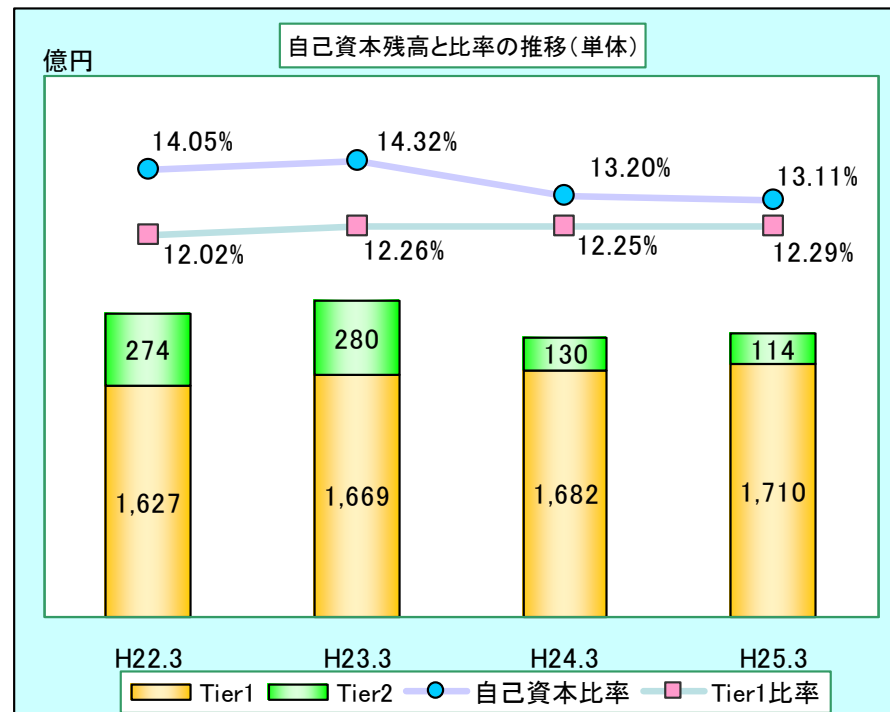


(百万円)

	H22.3末	H23.3末	H24.3末	H25.3末	増減 (H24.3末比)
破産更正債権等※	23,696	17,914	16,897	14,322	△ 2,575
危険債権	59,881	53,650	49,320	66,281	16,961
要管理債権	1,179	1,113	6,147	764	△ 5,383
計	84,757	72,677	72,365	81,368	9,003
不良債権比率	3.91%	3.23%	3.14%	3.44%	0.30%

※破産更正債権及びこれらに準ずる債権

○単体自己資本比率



	24年3月末	25年3月末	増減
単体自己資本比率	13.20%	13.11%	△ 0.09%
(Tier1比率)	(12.25%)	(12.29%)	(0.04%)
連結自己資本比率	13.62%	13.69%	0.07%
(Tier1比率)	(12.70%)	(12.84%)	(0.14%)

平成26年3月期業績予想

- ・ 経常収益は52,000百万円（前期比△6,248百万円）を予想しております。
- ・ コア業務純益は16,000百万円（前期比△1,098百万円）を予想しております。
- ・ 経常利益は11,000百万円（前期比△951百万円）を予想しております。
- ・ 当期純利益は6,000百万円（前期比△361百万円）を予想しております。

○平成26年3月期業績予想

【単体】 （通期）

	（通期）		（中間期）		（百万円）	
	25年3月期	26年3月期	25年3月期	26年3月期	25年3月期	26年3月期
経常収益	58,248	52,000	経常収益	31,665	26,000	
経常利益	11,951	11,000	経常利益	9,525	5,500	
当期純利益	6,361	6,000	中間純利益	5,301	3,000	
コア業務純益	17,098	16,000	コア業務純益	8,688	8,000	

コア業務純益

- ・ 市場金利が低位で推移することによる運用利回りの低下を原因に資金利益の減少が見込まれることから、前期比減少の160億円を予想。

経常利益

- ・ コア業務純益の減少を見込むことから、経常利益は110億円を予想。
- ・ 不良債権処理費用予想 通期40億円

【連結】 （通期）

	（通期）		（中間期）		（百万円）	
	25年3月期	26年3月期	25年3月期	26年3月期	25年3月期	26年3月期
経常収益	69,314	62,000	経常収益	37,238	31,000	
経常利益	14,123	12,000	経常利益	10,673	6,000	
当期純利益	6,994	6,200	中間純利益	5,629	3,100	

当期純利益

- ・ 経常利益は前期比減少を予想しているものの、一方で特別損失の減少を見込むことから、当期純利益はほぼ前期並みの60億円を予想。

配当

- ・ 配当は安定配当に加え、配当性向25%～30%を目処とする業績連動型配当の考え方に基づき実施する。
- ・ 業績予想の水準より年間配当は安定配当相当額の6円（中間配当3円、期末配当3円）に加え、創業70周年記念配当1円（中間配当50銭、期末配当50銭）を予定。

1株当たり配当金

年間	うち中間	うち期末
7円00銭	3円50銭	3円50銭